

工事説明書 吸込グリル

品名	品番	仕様
吸込グリル	VB-GD150P	(シャッター付き・前面フィルタータイプ)

・この工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

**警告**

■内釜式風呂を設置した浴室に取り付けない

 禁止

排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。

**注意**

■炎があたるおそれのある場所には取り付けない

 禁止

プラスチック部品が変形したり、着火して火災となるおそれがあります。

**注意**

■部品は確実に取り付け

 落下により、けがをすることがあります。

**注意**

■お手入れの際は、ゴム手袋を使用

 板金・樹脂部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。

**注意**

■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け

 落下により、けがをすることがあります。

お願い

■台所など、油煙の発生する場所には取り付けないでください。
ルーバーの破損の原因となります。

■高温になる場所には取り付けないでください。
ルーバーの変形の原因となります。

■グリルを石こうボードに取り付ける場合は、下地木桟または市販の石こうボード用アンカーを必ず使用してください。
がたつきや落下の原因となります。

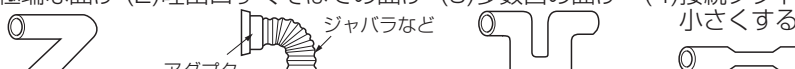
■次のような配管工事はしないでください。
風量低下や雨水浸入の原因となります。

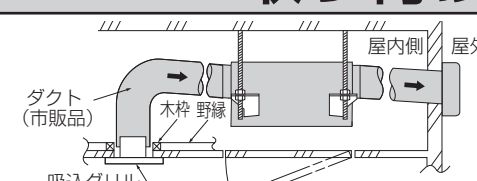
(1) 極端な曲げ

(2) 吐出口すぐそばでの曲げ

(3) 多数回の曲げ

(4) 接続ダクト径を小さくする

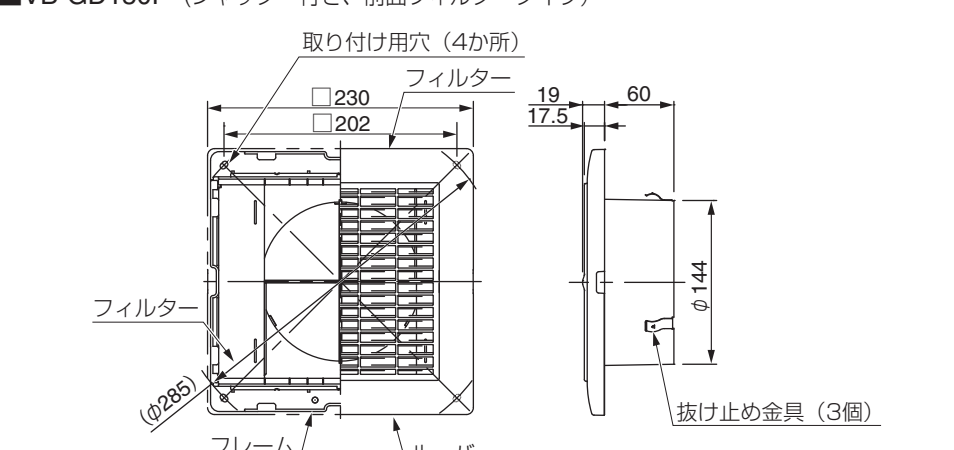




■ダクトは必ず屋外側に下り勾配を設けてください。
(勾配 1/100~1/50)
雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。

各部の名前と寸法 単位：mm

■VB-GD150P (シャッター付き、前面フィルタータイプ)



取り付け用穴 (4か所)
フィルター
230
202
19
17.5
60
144
φ144
抜け止め金具 (3個)
フィルター
φ285
フレーム
ルーバー

付属品 末尾の数字は数量をあらわします。

タッピンねじ (φ4×30L)	……4
パッキン	………2

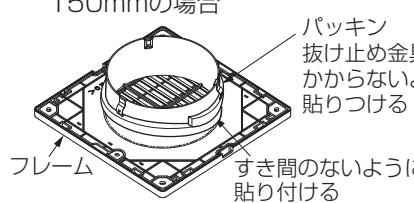
接続ダクト (市販品)

呼び径	種類
φ150	塩化ビニル管 (VU,VP)
	ステンレス鋼管
	鋼板スパイラルダクト
	アルミフレキダクト

施工方法 以下の手順に従って施工してください。

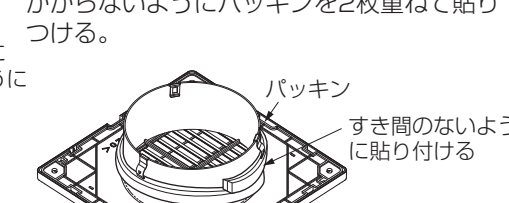
①接続ダクトに応じて、付属のパッキンをフレームに貼り付ける。

■スパイラルダクトなどの内径150mmの場合



パッキン
抜け止め金具にかからないように貼りつける

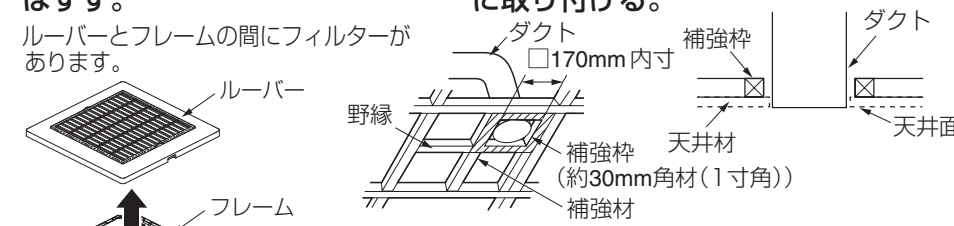
■VP管のように内径が150mmより小さいダクトの場合は抜け止め金具3個をはずす。



パッキン
すき間のないように貼り付ける

②フレームからルーバーを取りはずす。
ルーバーとフレームの間にフィルターがあります。

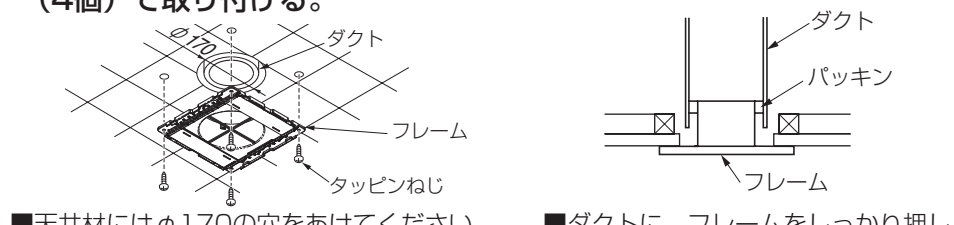
③ダクトの外周に補強枠を作り、野縁に取り付ける。



ダクト
□170mm 内寸
補強枠
野縁
天井材
補強枠 (約30mm角材 (1寸角))
補強材
天井面

お願い ■ダクトの先端は取り付け天井面より出ないようにしてください。給排気グリルが取り付けなくなります。
■グリルを石こうボードに取り付ける場合は、下地木桟または市販の石こうボード用アンカーを必ず使用してください。

④天井材をはり付け、フレームをダクトに挿入し、付属のタッピンねじ (4個) で取り付ける。

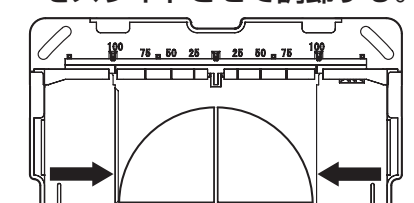


ダクト
フレーム
タッピンねじ
パッキン

■天井材にはφ170の穴をあけてください。
■ねじは締め付けすぎないようにしてください。

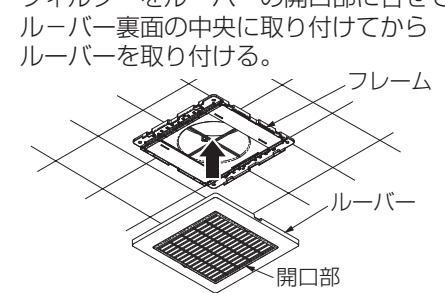
■ダクトに、フレームをしっかり押し込んでください。

⑤風量調節をする場合は、シャッターをスライドさせて調節する。



■数値は、シャッターが左右同じ位置での開口率を表しています。
(工場出荷時は全開です。)

⑥ルーバーをフレームに取り付ける。



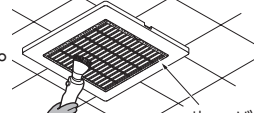
フィルターをルーバーの開口部に合せて、ルーバー裏面の中央に取り付けてからルーバーを取り付ける。

フレーム
ルーバー
開口部

お手入れのしかた 汚れかたによってお手入れの頻度を変えてください。

1か月に1回程度 ルーバー表面をからぶき、または掃除機でホコリを吸い取ってください。

3か月に1回程度 下記の手順に従って、内部のお手入れをしてください。

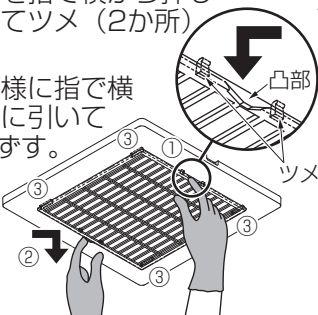


■フィルターだけをはずしてメンテナンスをする場合

①どちらか片方の凸部を指で横から押しながら、手前に引いてツメ (2か所) をはずす。

②もう片方の凸部を同様に指で横から押しながら手前に引いてツメ (2か所) をはずす。

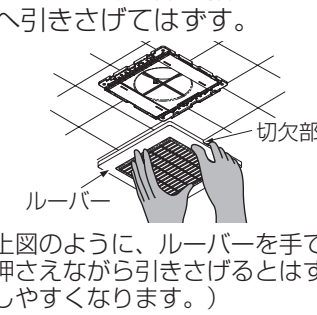
③フィルターをたわませながら残りのツメ (4か所) をはずす。



凸部
ツメ

■ルーバーもはずしてメンテナンスをする場合

ルーバーの切欠部に指をかけて下へ引きさげてははずす。



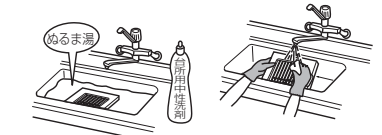
切欠部
ルーバー

(上図のように、ルーバーを手で押さえながら引きさげるとはずしやすくなります。)

■汚れをとる

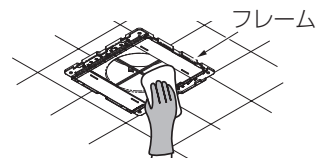
台所用中性洗剤をとかしたぬるま湯に浸し、水洗いした後、からぶきをして水けをよくふきとってください。

掃除機でホコリを吸い取る。汚れが落ちにくい場合は台所用中性洗剤をとかしたぬるま湯に浸し、汚れを落としてから水でよくすすぎ洗いをし、日陰でよく乾かす。



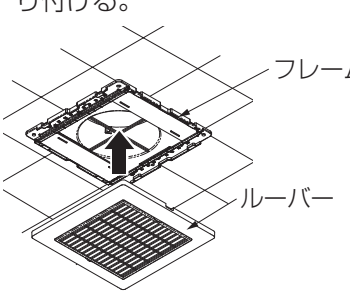
■フレームのお手入れ

台所用中性洗剤を浸した布でホコリをふきとったあと、からぶきして水けをよくふきとる。



■ルーバーの取り付け

ルーバーをフレームに取り付ける。



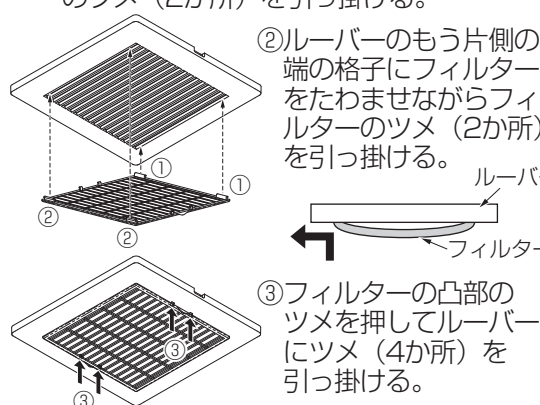
フレーム
ルーバー

■ルーバーへのフィルターの取り付け

①ルーバーの片側の端の格子にフィルターのツメ (2か所) を引っ掛ける。

②ルーバーのもう片側の端の格子にフィルターをたわませながらフィルターのツメ (2か所) を引っ掛ける。

③フィルターの凸部のツメを押してルーバーにツメ (4か所) を引っ掛ける。



フレーム
ルーバー
フィルター